

国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本語教育のための学習者コーパス(I-JAS)の構築と研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 迫田, 久美子, 佐々木, 藍子, 細井, 陽子, 須賀, 和香子, 野山, 広 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003400

日本語教育のための学習者コーパス(I-JAS)の構築と研究

迫田久美子・佐々木藍子・細井陽子・須賀和香子・野山広（日本語教育研究領域）

コーパスって、何？

コーパス (corpus) とは、大量に収集され、電子化された書き言葉および話し言葉の言語資料のこと。

なぜ、学習者コーパスが必要？

「おもしろいだった」「違うです」等、学習者には教師が教えた規則とは異なる学習者独自の使い方がある。言語教育のためには、学習者がどう学び、どう使っているかを知ることが重要。学習者コーパスを分析することによって、彼らの習得の様相が解明できる。

I-JASって、どんなコーパス？

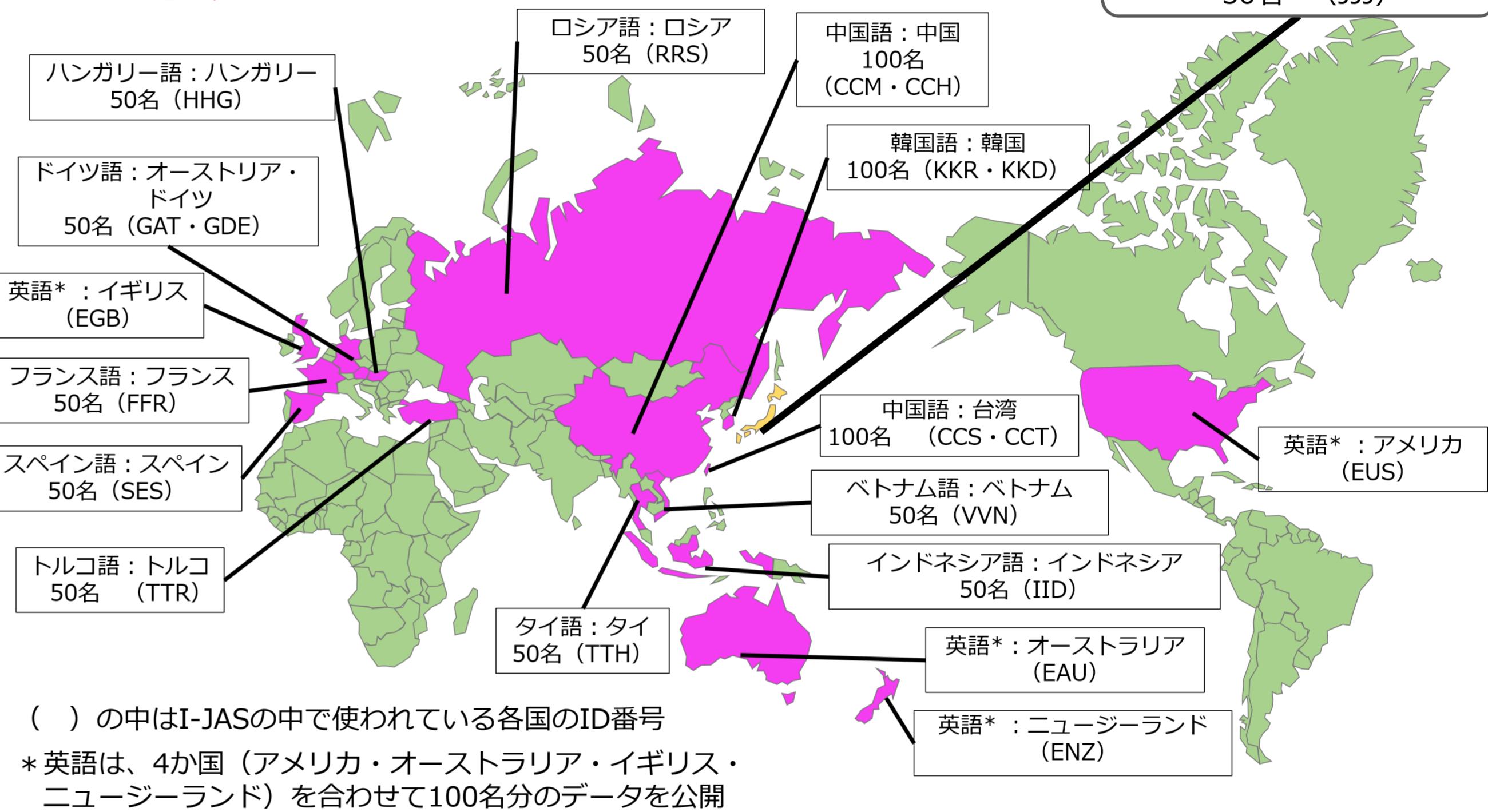
LSAJホームページ <http://lsaj.ninjal.ac.jp/> (I-JASへの入り口)



既存の学習者コーパスの規模拡大と
内容充実のために構築

日本での調査
●教室環境で日本語を勉強
100名 (JJC・JJE)
●生活環境で日本語を勉強
50名 (JIN)
●日本語母語話者
50名 (JJJ)

調査した国



タスクの充実性

●7種類12タスク

- ①ストーリーテリング(2タスク)
 - ②対話〈約30分間〉(1タスク)
 - ③ロールプレイ(2タスク)
 - ④絵描写(1タスク)
 - ⑤ストーリーライティング(2タスク)
 - ⑥作文1：メール文(3タスク)
 - ⑦作文2：エッセイ(1タスク)
- ※⑥⑦については任意参加

テキスト・音声のダウンロードが可能

日本語能力の客観テスト

- J-CAT
(Japanese Computerized Adaptive Test)
- SPOT
(Simple Performance-Oriented Test)
研究内容に応じてレベル判定基準を選択できるよう2種類の日本語能力客観テストを実施

詳細な学習者情報

●属性など【7項目】

例) 調査地・年齢・性別・身分・出身国 など

●言語環境【7項目】

例) 母語・家族の母語・母語以外に使える言語の有無

●日本語学習について【6項目】

例) 日本語学習のきっかけ
日本語でどのような活動をするか など

I-JASからどんな研究ができる？

●文法をどのように習得していくのか

習得順序はある？母語による違いがある？

●学習者が間違いややすい箇所には共通点があるのか

日本語母語話者の子供が間違う箇所と同じ？

母語による違いがある？

●母語の違いによって、依頼や断りの場面で使う待機表現に、違いがあるのか

母語の表現が影響している？

●「書く表現」と「話す表現」に違いがあるのか

考える時間が影響している？ その他…

外国人に効果的に
日本語を教えるため
の基礎情報になる

第二言語習得
理論の構築に
貢献する

日本語学や
言語学の研究
に貢献する

奥野・リスタ(2015)

【概要】I-JASの中・英・尼・西・仏語のデータを用いて「話す課題」と「書く課題」におけるストーリー描写の言語使用を分析し、「話す課題」より「書く課題」に「食べられる」「～てしまう」のより複雑な表現が使用される傾向がわかった。

迫田・蘇・張(2017)

【概要】I-JASの中・英・仏・西語の母語の学習者のロールプレイの依頼データを用いて、日本語母語話者にはあまり見られない「念押し表現(いいですか)」の使用について分析し、中国語母語話者特有の傾向が母語の影響であることを示した。

田中・野田他(2016)

【概要】I-JASのヨーロッパの学習者のデータを中心に用いて、ロールプレイ・メール・エッセイの各タスクに表れる話し手・聞き手・書き手・読み手の「対話」を分析し、学習者コーパスが動的なものであることを示した。

砂川・黒沢(2017)

【概要】I-JASの中国語を母語とする学習者の発話データ(ストーリーテリング、対話、ロールプレイ)を対象として、漢語名詞の誤用を分析した結果、日本語の漢字単語の発話の際に、中国語の字音による負の転移があることが示された。

I-JAS研究事例(現在25例以上)

http://lsaj.ninjal.ac.jp/?page_id=345